

ケアホームちどり

発行日 平成30年5月15日
発行者 ケアホームちどり
門真市柳田町15-23

平成30年(2018年)3月1日

セ イ ル オ ン !!



3月1日初めての入居 順調にご入居が始まりました

3月1日木曜日、職員一同緊張の思いで初めての入居のご利用者全員をお出迎えさせて頂きました。

平成29年1月に着工、大きな障がいもなく無事、平成30年1月に竣工させて頂いたこと、2月には近隣の皆様をはじめ、関係機関・団体の皆様へのお内覧会を通じ、お披露目をさせて頂きました。



施設外観 玄関外観

入居のお申し込み、ご相談も多数いただき、3月1日より予定通りに、順次ご入居頂くことができました。職員も当初は不慣れながらも皆様方には大変なご迷惑をおかけいたしました事

ケアホームちどりのデイサービスセンター

5月1日よりスタート

特養に続き、平成30年5月1日より、「ケアホームちどり デイサービスセンター」が定員10名の地域密着型通所介護として、オープンいたしました。



地域に根差した、地域の要望にこたえる、温かい家庭的な「デイサービスセンター」でありたいと思っております。職員一同ご利用お待ちしております。



デイサービス

毎日の食事の中でも、時々家庭的な雰囲気から、気分を変えて頂くのもよくあります。

握りたてのお寿司を

本職の職人さんが目の前で

あふりますが、施設においても皆さんも当然そんな気分になる事があると思います。かといってみんなで外食という事もままならず、今回給食委託業



者と協力させていただきます。専門の職人さんに共同生活室に出張いただき、皆様の目の前で、お寿司を握って提供するイベントを行いました。



共同生活室

まだまだ行届かない点多々あると思いますが、ご意見等遠慮なくお申し出頂きますようお願いいたします。また、1階の廊下にはご意見箱も設置いたしております。



皆様の健康管理をさせて頂いております。又、歯科も定期往診が開始され、診療を開始して頂いております。



上手にできました!

季節が感じにくい室内での生活で、介護職員はもとより理学療法士「PT」と作業療法士「OT」による訓練が日々ユニットでは計画に基づいて行われております。そのよう



な中で、今回折り紙によるレクリエーションが訓練士により「鯉のぼり」の作成に取り組みいただきました。最初はむづかしい・何ができないかわからない方も少しずつ形が出来上がると、嬉しそうな表情がありました。なかなかできなかったり、また時には投げ出してしまわれる方もありましたが、出来上がりを見て、大きな笑い声や、笑顔がユニット中に響いていました。5月5日の当日には普入れ



として使用し、色とりどりの鯉のぼりが食卓に並びました。記念に居室へ持って帰られる様子もありました。

宮門真市長も激励に来てくださいました

3月のオープン前準備や研修にあわただしくさせて頂いている中、宮門真市長が、施設の見学もかねて職員への激励に駆けつけて頂き、職員一同そのご厚意に感謝し、ますますの元気を頂きました。



熱中症に注意しましょう

お年寄りは熱中症に特に注意が必要です。熱中症患者のおよそ半数が高齢者(65歳以上)です。日中の炎天下だけでなく、室内でも、夜でも多く発生しています。周りにいる人たち



「周りに迷惑を掛けたくない」「体が冷えるのが嫌」「夏は暑いんだ。多少は我慢」など、ついつい無理をしたり、自分の生活スタイルを変えないことがあります。しかし、体が加齢で変化しているように、真夏や熱帯夜の増加など、以前より夏は暑くなっています。今までの同じ夏の過ごし方では、対処しきれないことを理解する必要があります。

広報誌の名前募集中

ケアホームちどりの広報誌が出来上がりました。定期的に発行して頂くのをご報告をさせて頂く予定をしております。広報誌の名前を募集します、いい名前を付けてください。



も、暑ければいつまでも起る危険があると思っただけから注意をし、積極的に声を掛けて下さい。

高齢者は体温調節機能が低下しているため、体に熱がたまりやすくなります。暑い時には若年者よりも循環系への負担が大きくなります。体の中の水分量も若者と比べると低いため、脱水状態に陥りやすくなります。また、体の老廃物を排出する際に、たくさんの尿を必要とします。暑さやのどの渇きを感じにくいなど、体が出しているSOS信号に気づきにくくなっています。